



# くすのきっ子

〈陸上部の練習を見守る「くすのき」〉

## ～ 新型コロナウイルス感染症予防をして、実り多き秋をめざそう ～

新型コロナウイルス感染者数が全国的に減少する中、10月11日（火）より、第2学期がスタートしました。ニュースや新聞紙上でも、3年ぶりに実施される全国の催しの報道に、ようやく少しずつ日常生活が戻りつつあることに、喜びを感じるこの頃です。

佐野市内の感染者も大幅に減少し、旗川小学校での学校生活も、様々な学校行事を、延期や中止にすることなく、予定通り実施できるようになってきました。

2学期前半には、校内演劇鑑賞会や市内陸上記録会、校内持久走大会や市内駅伝記録会等の行事が、次々と予定、実施され、まさに芸術の秋、スポーツの秋本番を迎えています。くすのきっ子の活躍も期待されます。

一方で、新型コロナウイルス感染症は、未だゼロというわけにはいきません。また、インフルエンザの流行との同時対策についても、困難さが予想されています。

学校生活を支えていただいている多くの地域の皆様への感謝の気持ちをもちながら、166名のくすのきっ子一人一人にとって、芸術の秋、運動の秋、学習の秋、読書の秋など、実りの多い秋となるように、教職員一同、努力して参りたいと思います。地域の皆様、保護者の皆様におかれましても、引き続き、ご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



体育館での2学期始業式の様子

## ～ 祝 学校音楽祭 中央祭出場 6年生全員による合唱 ～

去る9月29日（木）に、佐野市文化会館において、佐野市芸術祭学校音楽祭が開催されました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症のため中止となり、今年度も開催が危ぶまれていましたが、多くの関係者のご尽力と、本校では合唱部としてではなく、6年生全員による学級での出場という担任兼音楽主任の努力により、出場できました。

当日は、合唱曲「卒業へのプラットホーム」のすばらしい歌声と表現力豊かな発表ができ、見事、最優秀賞の一枚に選ばれ、宇都宮市で開催される県の学校音楽祭中央祭への出場が決まりました。

大会前日の校内発表会では、全校児童、教職員がその歌声に感動させられました。

中央祭でも、佐野市の代表として、6年生30名には、自信をもって堂々と練習の成果を発揮してきてほしいです。



学校音楽祭りハーサルの様子

9月29日(木) 放課後子ども教室



講師の芝田さんによるチューリップシアターでは、動く紙芝居による楽しいお話や寄席風な昔話に、1年生は大喜びでした。

10月12日(水) 演劇鑑賞会(らくりん座)



県の事業で、劇団らくりん座による演劇鑑賞会が開かれました。「いっしょにいこうよ(ブレーメンの音楽隊)」の演劇に、全校児童が感動し、見入っていました。

10月17日(月) 1, 2年サツマイモ掘り



旗川コミュニティ・街づくり部の農園ボランティアの皆様のご支援により、1・2年生がサツマイモ掘りを行いました。大収穫に、みんなは歓声をあげていました。

10月21日(金) 2学期学級委員委嘱



3年生以上の各学級の学級委員の委嘱を表彰集会で行いました。どの児童も、学級で選ばれた代表として、立派な態度で委嘱状を受け取る姿が見られました。

### 【旗川小の教育】



市内陸上記録会に出場した選手たち

### 「学校部活動」の活動について

佐野市内には、「小学校体育連盟」という組織があり、各小学校の体育主任を中心に、主に市内の陸上記録会と駅伝記録会を運営しています。また、「音楽教育研究会」という組織があり、各小学校の音楽主任を中心に、学校音楽祭を運営しています。

本校でも、本来は陸上部、駅伝部、合唱部の3つの学校部活動を、教職員が手分けして指導に当たる仕組みですが、新型コロナの影響で昨年までの2年間は、活動の中止を余儀なくされてきました。

今年度は、ようやく陸上部・駅伝部は部員を募集して、無理のない範囲で学校部活動が行えるようになってきました。

保護者の皆様には、練習後の迎えや大会への送迎等、ご負担をおかけしますが、学校代表を目指して部活動に参加することは、小学校生活の貴重な経験だと思います。

今後も、上学年になったら、学校部活動に挑戦できるくすのきっ子が増えることを願っています。